

富 貞 一 郎 (市民ネットワーク 市民の声、大河の会、能代民政会)

海打ちを継続するための事業者との協議

【問】落合浜は多くの学生たちがロケットの海打ちを行うことのできる唯一無二の場所となっている。沿岸で洋上風力発電設備の稼働を予定していることから、事業者、法定協議会で交渉を行えないのか。

【答】平成17年から始まった能代宇宙イベントは毎年恒例の一大イベントに成長し、全国各地の大学生を中心に開催されている。中でもハイブリッドロケットの海打ちは全国的に実施できる場所が少ないため、学生たちの日頃の研究成果を試す貴重な機会となっていることから、継続して実施できるように、事業者が選定された際は働きかけをしていきたい。

人口減少対策

【問】国においても市においても人口減少は、雇用、経済、あらゆる産業に影響を与える。市として人口減少対策に関わる横断的な部署を組織編制できないのか。

【答】市の最重要課題として、各種施策に分野横断的に取り組む必要があると考えている。人口減少対策に関わる分野については人口政策・移住定住推進室において、人口ビジョンや総合戦略を策定し、人口減少が進む中でも市民が安心して暮らし続けることができる地域づくりのため、総合計画との整合性を図りながら一体的に取り組んでいる。

その他の質問事項

- 旧崇徳小などの臨時合宿所の設置
○人口減少による小・中学校の統廃合
○大雨被害の抜本的対策

安岡 明雄 (希望)

認知症に関する条例を検討する時期では

【問】2年後に約67.5万人が認知症と推定される中、認知症基本法が成立した。誰もがそれぞれの人格や個性を尊重して、支えながら生きていく共生社会を実現するために、条例制定を目指すのが重要ではないか。

【答】認知症への対応は市にとっても大変重要な課題の一つと認識しており、第8期介護保険事業計画に認知症施策の推進として位置づけ、各施策を展開している。引き続き、国、県の動向を注視するとともに、認知症の人や家族、関係者等から広く意見を伺いながら、条例制定の必要性について、他市の状況等も参考に検討していきたい。

教職員の働き方改善と教育の質の向上

【問】教職員が忙しく余裕がない状態では、子供たちの学びに影響を及ぼす。これを解決するためには、具体的な目標指標の設定がないと、勤務実態の改善と教育の質向上が結びつかないのではないか。

【答】市教育委員会では、全教職員の時間外在校等時間を月45時間以内、1年間で360時間以内を目標としている。現在、事務や会議時間の削減が期待される統合型校務支援システムの導入を検討しており、今後教職員が子供たちと向き合う時間を確保し、健康保持とワーク・ライフ・バランスの充実を図れるよう、働き方改革を一層推進していく。

その他の質問事項

- 情報伝達に防災ラジオの取組が有益では
○浸水被害地区の空き家対応はどうか
○避難所の猛暑への対応が急がれるが市の考えは

市民意識調査結果

市民意識調査において、市議会に関する質問項目を設けています。今年の調査結果をお知らせします。

【問】能代市議会では、議会だよりやホームページを通じて活動状況をお知らせしているほか、本会議のライブ・録画中継や、議会基本条例に基づき委員会の傍聴を行うなどの取組をしていますが、市議会に對してどのようなことを期待しますか。(選択は2つまで。構成比は回答者769人に対する割合のため、合計値は100%になりません。)

- 1位 市民の意見を広く聴く取り組みを充実する (45.3%)
2位 市政の発展に資する政策を提案する (31.1%)
3位 特にない (26.4%)
4位 条例や予算等の内容が適正か審議する (19.0%)
5位 行政の事務が公正に行われているかチェックする (12.2%)
6位 議会活動に関する情報提供を充実する (10.1%)
7位 無回答 (3.0%)
8位 その他 (0.9%)